

●物流とは

物流とは「物資を供給者から需要者へ、時間的および空間的に移動する過程の活動」と定義されています。

古代から食物は、収穫期にしか取れませんが、1年中食べるためにさまざまな方法で食物を保存しています。これが**保管機能**です。

農産地や海外で採れた食物を都会の人が食べるために、何らかの方法で食物が運ばれます。これが**輸送機能**です。

物流では対象のモノは、劣化や付加価値が付かないこと、つまり、変化しないことが原則です。

例えば、米は一般的に秋に新米として収穫されますが、翌年の夏を越すと味が落ちることから古米と呼んでいます。近年、温度管理などによる保管により、夏を越しても味がほとんど変わらなくなりました。リンゴもCAガスの中に保存することにより、長期保存をしても味が落ちなくなっています。

大西洋で採れたマグロを、マイナス60℃ぐらいに冷凍し日本に運んで解凍することにより、生のマグロに近いものが食べられています。

本来物流は、上記のように対象物に付加価値を付けるものではないのですが、近年盛んになった**流通加工**という機能は、製品完成後の流通過程（製品を使用者まで届ける過程）において、商品化するための付加価値を付ける機能をいいます。

例えば、お米を売るために、お米屋さんで精米し、販売店でおむすびや弁当にして販売することなどです。背広などには、ネームを刺繍してくれます。ガラスも、窓の大きさにカットして販売してくれます。このようにさまざまなことが行われ、生産との区別がつかなくなっています。

次の3つの機能は、保管、輸送、流通加工といった機能を補助し、効率よく機能を果たし、かつ高度化する機能です。

包装の機能

輸送・保管と取引や使用にあたって、内容品の保護、取り扱いの効率化、宣伝・情報の伝達、荷扱いの条件付けなどの機能とともに、消費者に対し新品性の保証、安全確保などの機能を持っています。

米をそのまま保管・輸送するより、容器（袋、米びつ、米俵）に入れて扱う方が効率的です。スーパーで扱うのは、5 kg、10 kg などの袋に入っています。その袋にブランド名、産地などの情報が書かれています。

荷役の機能

生産、流通、保管などを行う拠点において行う作業のことです。

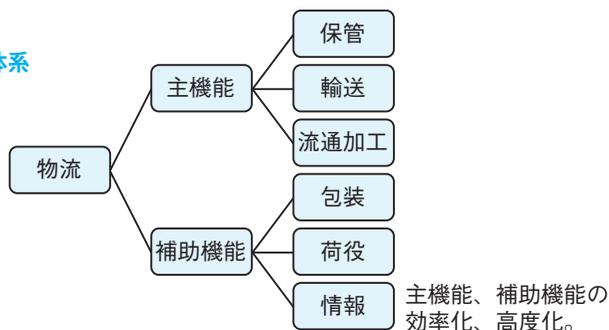
これを合理化・効率化することによって、安く、安全に、速く、保管や輸送などの機能を果たすことができます。スーパーでは、トラックから商品などを降ろし、バックヤードの保管場所に入庫・保管をしておき、店頭の在庫がなくなったら品出しをします。

情報の機能

上記5つの機能を効率化・高度化することにあります。

スーパーでは、バックヤードの在庫量が一定量（**安全在庫**と呼びます）より少なくなった時点で注文しますが、在庫量の管理と注文から補充される（米が届く）までの時間（**リードタイム**と呼びます）内の販売数量を勘案して発注量を決めます。近年は、レジで売れた量を瞬時に把握するなど、コンピュータ処理に基づいて発注が行われています。

図 1-1-1 物流の機能体系



1-2

物流の領域

●物流はどこにでもある

物流は人間が生活しているすべての場所で行われています。身の回りにあるほぼすべてのモノが保管されたり、輸送されたりしているからです。例えば、日本では自動倉庫（後述）には、赤ん坊が使うモノ（ゆりかご）から骨壺（都市部の立体墓地など）まで保管されています。また、霊柩車は一般貨物運送事業に含まれます。

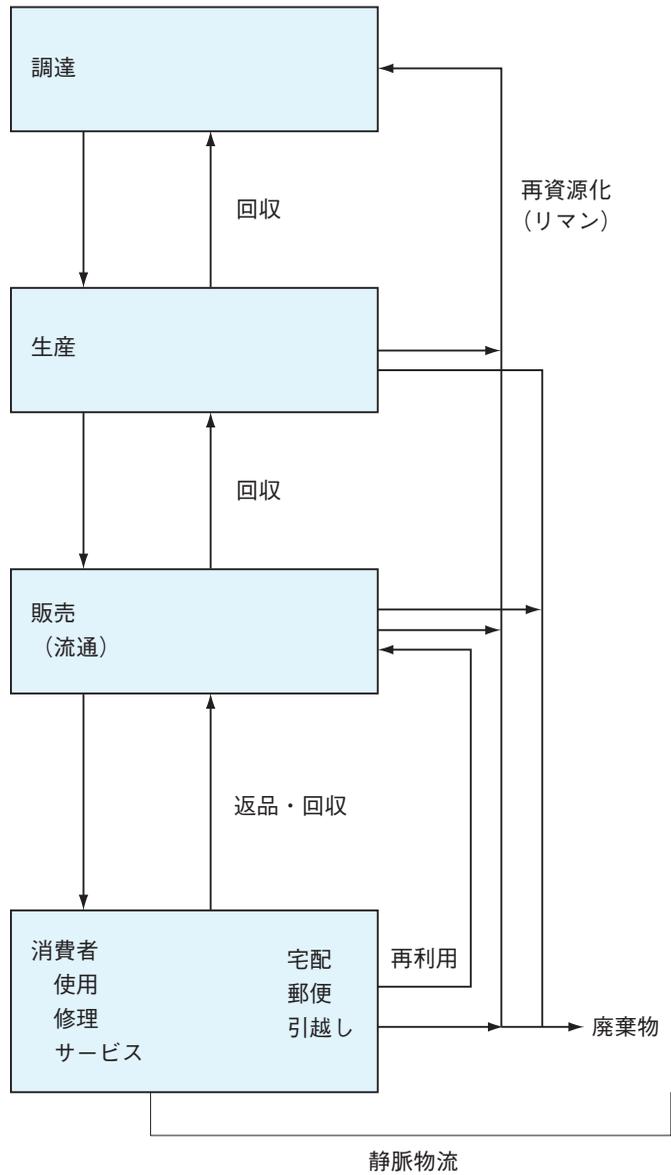
工業製品の一生を考えてみましょう。

- ・技術開発—設計—試作—生産準備する。 (準備段階)
 - ・原材料、部品などを集める。 調達物流
 - ・工場などで製作する。 生産物流
 - ・店舗や消費者まで届ける。 販売物流
 - ・不良品、売れ残りなどを戻す。 回収物流
 - ・実際に使用する。 消費者物流
- 消費者間での譲渡、引越して使用場所の変更、保管庫に預けたりする。
- ・使えなくなったモノや各拠点などでの残材は廃棄する。 静脈物流

図 1-2-1 に物流の領域を示します。調達、生産、販売の各領域は、上から下へ移動します。ついでに所有権も上から下へ移動します。金と情報はモノと反対に動きます。消費者の領域は横に動きます。回収・静脈物流は右から左へ移動します。

一般的に、販売物流で扱うのは、生産地や工場から店舗まででしたが、今は消費者宅までになりました。

図 1-2-1 物流の領域



1・物流とは